

経営比較分析表（令和6年度決算）

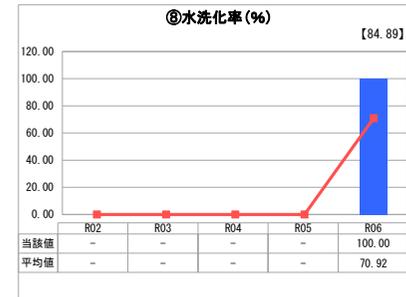
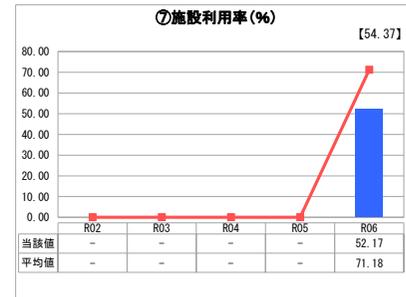
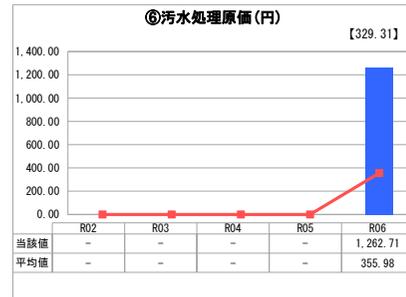
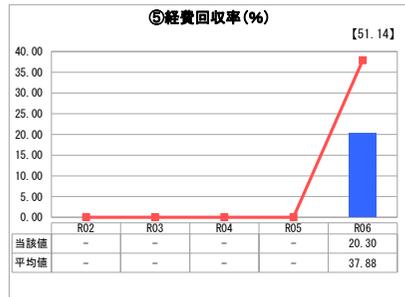
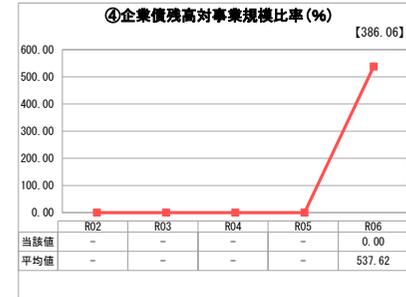
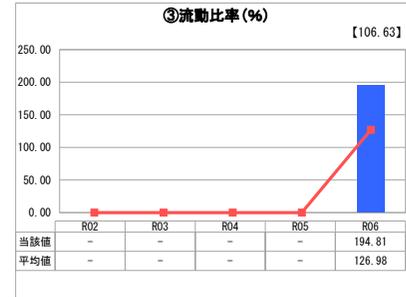
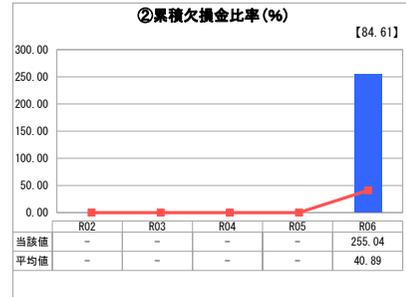
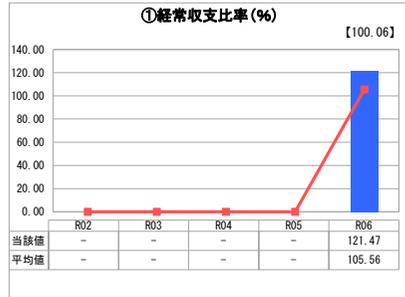
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	39.40	0.49	100.00	3,300

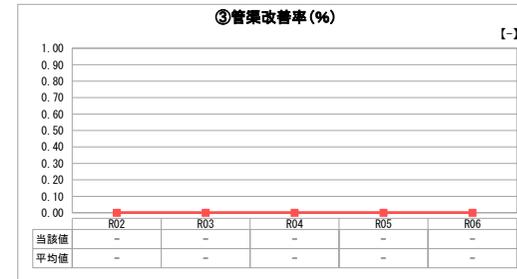
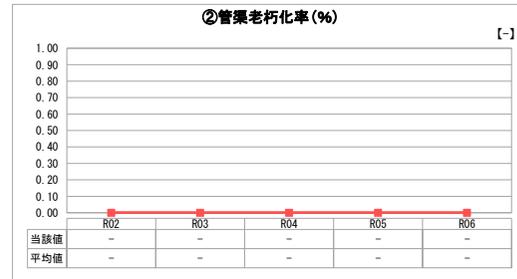
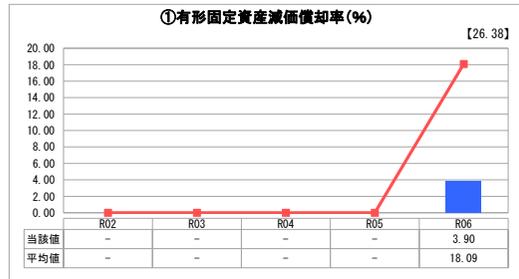
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,620	38.64	456.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
86	0.01	8,600.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
類似団体平均を上回っているが、一般会計からの繰入金に依存した経営となっている。経費を削減するなど経営の効率性に向けた取組が必要である。

②累積欠損金比率
経常費用に対して資本費（減価償却費及び支払利息）の比率が高い傾向にあることが要因と推測される。

③流動比率
100%を大きく超えているが、今後も企業債の償還は続いていくため、現金等の確保に向けた取組が必要である。

④企業債残高対事業規模比率
企業債残高に対しての一般会計への依存度が高いことから比率は0%となっている。

⑤経費回収率
類似団体平均及び全国平均を下回っている。維持管理費などの経費を削減するなどの取り組みが必要である。

⑥汚水処理原価
類似団体平均及び全国平均を上回っている。これは事業規模が小さく、事業に係る汚水処理費に対して有収水量が少ないことが要因である。

⑦施設利用率
少子高齢化及び節水機器の普及等により処理水量が少なかったと推測される。

⑧水洗化率
例年、類似団体平均及び全国平均を上回っている。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
事業の開始から10年程度であることから浄化槽の顕著な老朽化は見られないが、今後20年から30年後に浄化槽が耐用年数を経過し始めるので、毎年の法定検査、保守点検及び清掃の適正な実施により、浄化槽の性能の維持を図る。

全体総括

事業規模が小さく、今後使用料収入が大きく増加していくことが想定できないため、事業を継続していくにはある程度一般会計繰出金に依存していく必要がある。経費削減など、引き続き経営努力を続けていくことで、一般会計への依存をなるべく減らしていくよう努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。